

クラウン兄弟カスタマイズ最新事情!

CROWN
CUSTOMIZE
Frontline

バンディエラ

BANDIERA

☎エーモン tel.0790-22-6262
<https://bandiera-project.com>

クラウンの上質を、
さらにその先へ。



CROWN CROSSOVER

PHOTO/伊藤吉行 COPY/前川玲子



EXTERIOR

- グリルガーニッシュ
¥148,500

ピアノブラックのベースにクロームメッキのメッシュを重ねた2ピース構成。ベースは深く艶やかに輝く“究極の黒”を追求し、メッキは純正エンブレムと色味を合わせた落ち着いたトーンで仕上げられる



フラットで立体感に欠けていた純正開口部を補うため、ベースにはダイヤモンド形状の立体モチーフを採用。そこにメッシュを重ねることで奥行きと陰影を強化し、この複雑な形状を射出成形で精緻に再現している



正面からの迫力はもちろん、斜めや側面から見た際にも立体的な造形が明確に伝わるのが特徴。純正グリルにフックを引っ掛け、両面テープで固定する方式ながら、装着後は後付け感がなく驚くほど強い存在感を放つ

昨年の大阪オートメッセで衝撃のデビューを飾り、一躍注目を集めた新ブランド「バンディエラ」。イタリア語で“旗”を意味するその名には、既存の価値観に縛られず、尖ったモノづくりで新たな基準を示したい——そんな想いが込められている。構想から3年、1年前に発表されたグリルガーニッシュに続き、6月発売予定となるインテリアパーツがこのたび公開された。

開発にはイタリア人デザイナーが参画し、欧州車のカーデザインを数多く手がける企業と

協業。造形バランスや表面処理、光の映り込みに至るまで、徹底した作り込みがなされている。しかもこのブランドを手がけるのは、確かな品質で知られるエーモン。素材選びから仕上げまで一切の妥協はなく、純正パーツと見紛うほどのフィッティング精度を実現する。

記念すべき第1作のベース車に選ばれたのは、クラウングロスオーバー。純正デザインをリスペクトしつつ、さらなる立体感とプレミアム感を引き上げるために開発されたのがグリルガー

ニッシュだ。鋭いダイヤモンド形状をあしらったピアノブラックのベースに、クロームメッキのメッシュを重ねた2ピース構成で、フェイスに揺るぎない存在感を放つ。

インテリアもまた秀逸。樹脂パーツをレザー張り替え風やピアノブラック仕様へと昇華し、後付け感のない上質な室内空間を完成させた。両面テープ装着とは思えない完成度も特筆すべきポイントだ。販売方法や価格は未定だが、6月の登場が待ちきれない。

カスタムのポイント



純正と調和するこだわりの色設計

ステッチカラーには、ドア下部の純正スイッチや純正パネルに使われているゴールドラインに近い色味を採用。インテリア全体の配色バランスを崩さず、ブランドロゴも控えめに配置されているのが好印象だ

● ドアハンドルパネル ● ウィンドウスイッチパネル

ドアハンドルとウィンドウスイッチ部に被せるピアノブラックパネル。純正であしらわれているゴールドのラインはそのまま生かされ、ピアノブラックとの組み合わせにより、上質感がさらに引き立てられている



- ビラー（フロント）
- ドアトリムアップパー（フロント・リア）

Aピラーおよび前後ドア上部に貼り付けるレザー仕様のパネル。ステッチ入りの意匠により、貼り付けタイプとは思えない張り替え風の仕上がりを実現。ドアトリムは上部のみの構成だが、内張り全体を張り替えたように見える完成度だ



- センター
コンソールパネル

シフト周辺やドリンクホルダー周辺など、純正では樹脂となる部分をピアノブラック化。貼り付けるだけで視覚的なグロス感と質感の高さをプラスできる。純正のピアノブラックと並べても違和感のない仕上がりだ



- ダッシュボードパネル

ディスプレイ下左右へ長く伸びる樹脂製パネルを、両面テープ固定のピアノブラック仕様に変更。面積が大きいためインパネ全体の印象を大きく変えてくれる。右端にはさり気なくブランドロゴが刻まれる



後付けを疑わせない完成度の高さ



完成度へのこだわりは細部にまで及ぶ。スイッチパネルのくぼみ部分までしっかりとカバーする設計により、装着前の純正パーツが見えないよう徹底的に配慮。これがアフターパーツだと気づく人は、そう多くないだろう